

第5・6学年 総合的な学習の時間 学習指導案

徳之島町立母間小学校

教諭 下津 慶一

1 単元名 「母間に伝わる母間魂について学ぼう」

2 単元の目標

- 地域の人，もの，ことに関わる探究的な学習の過程において、「母間魂」が根付く母間のよさに気付く，それらが母間の人々の努力や工夫によって継承されていることに気付く。（知識及び技能）
- 地域の人，もの，ことの中から問いを見だし，考えたことや感じたことをプレゼンテーションソフト等でまとめたものや母間騒動劇を通して伝えることができる。（思考力・判断力・表現力等）
- 地域の人，こと，ものについて探求的な学習に主体的・協働的に取り組むとともに，地域に根付く「母間魂」を継承するために自分たちにできることを具体的に考えたり，「母間魂」を継承するために自分たちにできることを具体的に実行しようとしたりしようとしている。

（主体的に学習に取り組む態度）

3 本単元について

(1) 教材観

本単元では、「母間魂について考えること」「母間騒動について調べ，まとめること」，「母間騒動劇の披露」を教材として取り上げる。

校訓「母間校魂 できないということと言わぬ 最後まで本気でやり通す」の意味について考えたり，母間小学校校区にある「母間騒動の碑」や「母間正直の碑」を実際に見てその碑文を読み取ったりすることで，全てのものが「母間魂」でつながっており，それが今の自分たちに受け継がれていることが実感できる。

また，母間騒動について，一連の騒動の流れ，歴史的な経緯を知る中で，その時代の母間の人たちの生活が大変であったことを実感し，その状況の中で周りの人を巻き込みながら正義を実現していく行動のすばらしさを実感することができる。

さらに，母間騒動劇を発表する際，自分たちが調べたことを1枚のポスターとして掲示することで，学習したことを分かりやすく地域の人に伝えようという相手意識をもって，活動に取り組めるよさがある。

(2) 児童観

本学級の児童は，第3・4学年において，当時の高学年児童と共に母間騒動劇の練習を行い，披露する経験をしている。この活動を通して，母間騒動の一連の流れや主人公である「きくざん」の行動と「母間魂」の関連性を学んできている。

歴史的な経緯と身の回りの事象を見つけて理解を深めたり，複数の事象からその共通性を見いだしたり，友達との対話を通して考えを練り上げてこれからの実践について考えたりすることができるようになったこの期に，課題を取り上げる意義は大きい。

(3) 指導観

本単元の指導に当たって、まず、母間騒動の碑、母間正直の碑、校訓の写真を提示する。母間にある身近な3つのものの共通性は何か考えさせ、課題に対する意欲を高めたい。

次に、実際に母間騒動の碑と母間正直の碑を観察して碑文についてその意味を考えさせたり、それぞれの碑がどのようにして建てられたのか調べさせたりする。母間騒動を起こした当時の人々の思いについて考えを巡らせたり、母間正直の意味について考えさせたり、母間校区振興会の方が中心になって建てられたことに気付かせたりしたい。

さらに、当時の母間校区振興会のメンバーの方へのインタビュー活動を行なわせたり、当時の母間騒動の碑の建立の新聞記事を提示したりする。先祖の思いを大切にしようという地域の人たちにも、先に提示した3つのものにも、「母間魂」が宿っており、それがこれまで引き継がれていることを実感させたい。

そして、母間騒動劇に向け劇の練習をするとともに、調べたことをまとめる活動を行う。学んだことを「相手意識」をもってまとめることを通して、学んだことを実感させたい。

最後に、学んだことを振り返り、さらに自分たちがこれからできることについて話し合わせることを通して、これからの活動にもつなげていくようにする。

(4) ESDとの関連

・ 本単元で働かせるESDの視点（見方・考え方）

有限性…地域に残る大切なものは、何もしなければなくなってしまふ。

相互性…地域の先人が大切にしてきた思いが、今のわたしたちの身の回りにも多く残されている。

連携性…一人では難しいことも、同じ志をもった者同士協力することで成し遂げることができる。

・ 本学習を通して育てたいESDの資質・能力

批判的に考える力(Critical Thinking)

行政などが決めたことを鵜呑みにするのではなく、「これは間違っているのではないか」と疑いをもつことも大切にし、ときには自ら行動する。

他者と協力する態度

一人では難しいことも、周りの人を巻き込みながら実現していくための行動をとることができる。

つながりを尊重する態度

先人たちから受け継いできた「母間魂」「母間正直」の思いを、これからの後輩たちにも伝えていくための行動をとることができる。

・ 本学習で変容を促すESDの価値観

世代間の公正

今を生きるわたしたちには、大切に受け継がれてきたものや思いを、次の世代にきちんと受け次いでいく責任がある。

・ 達成が期待されるSDGs

11 住み続けられるまちづくりを

4 単元の評価規準

(ア)知識及び技能	(イ)思考力・判断力・表現力等	(ウ)主体的に学習に取り組む態度
<p>①「母間魂」が根付く母間のよさに気付き、それらが母間の人々の努力や工夫によって継承されていることに気付く。</p> <p>②学んだり、調べたりして獲得した知識を、言葉や図、絵などを用いてそれらを関連付けながらまとめる技能を身に付けている。</p>	<p>①資料をもとに課題を見だし、身近にあるものからその共通性を見いだすことができる。</p> <p>②母間騒動の碑や母間正直の碑、校訓について調べたことをプレゼンテーションソフト等でまとめたものを通して伝えることができる。</p>	<p>①地域に根付く「母間魂」を継承するために自分たちにできることを具体的に考えたり、「母間魂」を継承するために自分たちにできることを具体的に実行しようとしたりしようとしている。</p> <p>②プレゼンテーションソフト等でまとめたものや母間騒動劇を通して、自分たちの考えたことや感じたことを地域の人に伝えようとしている</p>

5 単元の指導計画

学習活動	学習への支援	評価・備考
<p>1 母間騒動の碑、母間正直の碑、校訓の写真をもとに、3つのものの共通性について考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> 3つとも「母間魂」という言葉が共通している。 どれも自分の住んでいるところの近くにあるものだ。 	<ul style="list-style-type: none"> それぞれの写真を拡大して比べやすくしたり、考えたことを記入して交流したりしやすくするために、Figmaのホワイトボード機能を使って、意見を交流させる。 事前にとったアンケート結果を提示し、普段の生活で「母間魂」をどれだけ意識していないかつかませる。 	<p>イ② (思判表)</p>
<p>2 実際に母間騒動の碑と母間正直の碑を観察して碑文についてその意味を考えさせたり、それぞれの碑がどのようにして建てられたのか調べたりする。</p> <ul style="list-style-type: none"> 母間騒動があった頃は、気候や富士山の噴火の影響で、日本中で一揆が多かった時期だ。 母間の人たちがみんなで力を合わせて抗議をしようとしたんだ。 自分たちの正しいと思うことを貫こうとみんなで協力したことはすごいことだ。 母間校区振興会の人たちは、その「母間正直」をみんなに知ってもらいたかったんじゃないかな。 母間騒動の碑が2014年に建てられたのは、なぜだろう。 	<ul style="list-style-type: none"> 観察する際、母間騒動の碑文にある「母間校区振興会」に注目させ、母間校区振興会が中心になって母間騒動の碑が建立されたことに気付かせる。 6年生の歴史の学習と関連をもたせながら、母間騒動が起こったときの気候や歴史的な背景を捉えられるようにする。 	<p>ア① (知・技)</p>
<p>3 200年近く経ってから母間騒動の碑が建てられたのか調べる。</p> <ul style="list-style-type: none"> 先祖の思いを大切にしようという地域 	<ul style="list-style-type: none"> 当時の母間校区振興会のメンバーの方へのインタビュー活動を行なわせたり、当時の母間騒 	

<p>の人たちの思いにも、先に提示した3つのものにも、「母間魂」が宿っているんだ。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 「母間魂」は、これまで引き継がれているんだ。 <p>4 母間騒動劇に向け劇に向け、2つの活動をおとして、劇の練習をする。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>(1) 役人たちの母間村の人たちへの行動を批判的に考えさせる。</p> <p>(2) 当時の背景を踏まえて、登場人物の気持ちになりきってセリフを考えさせる。</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> ・ 母間村の人たちは本当に生活に困っていたのに、そんな中で取り立てを行うのはおかしい。 ・ 役人から取り立てがあったとき、きく山たちはどんなことを言っただろう。 ・ きく山たちの「母間魂」を忘れないために、見ている人に伝えていきたいな。 <p>5 調べたことをまとめる活動を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 母間騒動劇を見に来る人たちが分かりやすいようにまとめたいな。 <p>6 母間騒動劇を発表する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 見に来てくれた人が感動してくれた。やってよかった。 <p>7 学んだことを振り返り、さらに自分たちがこれからできることについて話し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 自分たちの生活の中で、どんなところで「母間魂」を思い出せばいいだろう。 ・ これまで受け継がれてきた「母間魂」を後輩たちに伝えていきたい。 ・ これからもずっと「母間魂」が引き継がれてほしい。 	<p>動の碑の建立の新聞記事を提示したりする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 台本を基に、母間騒動の当事者であるきく山たちの思いを考えさせるようにする。 ○ 島口指導をしていただくために、地域の方を招聘し、島口の指導をしていただく。 <ul style="list-style-type: none"> ○ 学んだことを「相手意識」をもってまとめることを通して、学んだことを実感させる。 ○ Canvaを用いて、調べたことをまとめさせる。その際、グループで活動がしやすいように、ホワイトボード機能を用いて共有デジタルワークシートで作業させる。 ○ 5でまとめたものを、母間騒動劇の会場に掲示させる。 <ul style="list-style-type: none"> ○ 活動で学んだことを自分事化させるために、自分たちの身近なことに置き換えさせて自分たちができていること、できていないことを考えさせる。 	<p>ウ② (主体的)</p> <p>イ② (思判表) ア② (知・技)</p> <p>ウ② (主体的)</p> <p>ウ① (主体的)</p>
---	---	--